

要保管

Street Ride -COMFORTABLE FOOTWORK SYSTEM-

車高調整式ダンパーキット 取扱説明書

この度は、弊社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本書は、本製品ご使用にあたり、注意事項をご理解頂き、正しくご使用頂くことを目的としております。装着、ご使用になられる前に必ずご一読下さい。

○ はじめに

- 商品が到着次第、製品の品番・商品名に間違いが無いか、確認して下さい。
(誤って装着された場合、返品及び交換が出来ない場合があります。)
- 本製品は車種別専用品となっており、適用車種以外への取り付けは行わないで下さい。
- 本製品(付属品含む)の加工は絶対に行わないで下さい。
- 本製品を譲渡される場合には、本書も必ず添付して下さい。
- 本書に記載されている事項を守らなかった場合の死亡・怪我・事故・物的損傷・製品についての保証は一切の責任を負いかねます。また当製品に不具合が発生した際の製品脱着及びそれに関連する作業工賃・送料・時間的損失・車両等の修理代金についても、弊社で負担することは一切出来ませんので予めご了承下さい。
- 各注意事項には△危険 △警告 △注意 のマークがついております。それぞれの意味をご理解頂き、取扱いには十分ご注意下さい。

△危険	この注意事項を無視して、誤った取扱いをしますと、死亡、または重傷に至る切迫した状況となります。
△警告	この注意事項を無視して、誤った取扱いをしますと、死亡、または重傷に至る恐れのある状況です。
△注意	この注意を無視して、誤った取扱いをしますと、人に被害が及んだり、物的損害を負う恐れがあります。

発売元 辰巳屋興業株式会社 自動車用品部

東京都葛飾区西新小岩3-8-4

TEL 03-3696-0620 FAX 03-3696-6721

<http://www.racinggear.co.jp> rg@tmy-net.co.jp

○ 内容物の確認

取扱説明書(本書)	1	ダンパーASSY(フロント)	2
製品保証書	1	ダンパーASSY(リア)	2
車高調整レンチ	2	減衰力調整六角棒レンチ※	1

※減衰力調整式のみ付属

○ ダンパー及び車両構造上の注意事項

⚠危険	本製品シェルケース内には窒素ガスが封入されております。分解したり、火中に投じることは絶対に行わないで下さい。爆発する危険があります。
⚠危険	本製品の加工は付属品を含み絶対に行わないで下さい。
⚠警告	本製品取り付け後は定期的に点検を行い、必要に応じてパーツの交換を行って下さい。
⚠危険	本製品は下部フランジでの車高調整、ケース長変更が可能です。フランジのシェルケースねじ込み寸法は、強度確保の為ストラットタイプは 60mm 以上、その他のタイプは 20mm 以上を確保して下さい。
⚠警告	出荷時の下部パーツは仮組み状態となっています。別紙仕様書記載の寸法を参考に寸法調整の上、増し締めを行って下さい。但し、車両の仕様やグレード等により、仕様書寸法と現車車高が異なる場合がありますので予めご了承下さい。
⚠警告	車高を下げることにより、タイヤハウス内インナーフェンダーへの干渉、破損、アームのボディへの干渉、ブレーキホース・センサーハーネスの車体への干渉等が起こる場合がありますが、それらについての保証は一切出来ませんので、各部適正にセットアップの上でご使用下さい。
⚠警告	本製品に交換することにより、タイヤ及びホイールと本製品が干渉する場合があります。その場合は、タイヤ、ホイールのサイズを変更する必要がありますので、予めご了承ください。
⚠警告	本製品はノーマル車両をベースに開発しております。社外アクスルキット等車両側構造を変更することで車高を変化させるパーツを装着されると、ダンパー側に必要とされるストロークが不足し、車両が破損する可能性があります。ストロークが確保できない状態でのご使用は絶対にお止め下さい。
⚠注意	シェルケース及びピストンロッドねじ部を直接工具等でつかむと、ねじ部破損に繋がりますのでお止め下さい。またピストンロッド摺動部は、キズがつくとオイルシールを痛めショックの寿命を低下させますので、同様に工具でつかまさないで下さい。使用時は必ずダストブーツを装着して下さい。

○ 取付上の注意事項

⚠危険	ダンパーの交換は訓練を受けた整備士が、設備の整った整備工場で行うべき危険な作業です。必ず資格を持つ専門店にて取付を行って下さい。またカーメーカーの整備書を参考に作業を行って下さい。
⚠危険	作業時には適切な服装を着用し、車両が十分に冷えるのを待って作業をして下さい。
⚠危険	ダンパー交換作業を行う場合は、必ず車両をリフトアップして下さい。また、ジャッキアップの場合は安全スタンドを使用して下さい。平らで燃えやすい物が無い場所に車両を停止させ、ジャッキやリフトの正しい操作方に従い、カーメーカー指定のジャッキポイントに確実に当てて下さい。
⚠警告	スプリングの脱着が必要な場合は、必ず規格品のスプリングコンプレッサーをご使用の上、スプリングが弾け飛ばないように注意してお取扱い下さい。
⚠警告	各部パーツは十分に増し締めを行って下さい。特にフロントストラットタイプ車両の下部フランジは、ステアリングをきると同時に回転方向に動く為緩みやすく、十分に締め付けて下さい。付属の車高調整レンチの穴に、9.5mm サイズスピナハンドルを組み合わせると、より高いトルクで締め付け可能です。
⚠警告	本製品交換後はアライメント調整を行い、同時にエンジンルーム内の安全確認を行って下さい。
⚠注意	ダンパーキットに落下等強い衝撃を与えますと、強度が低下する原因になりますのでご注意ください。
⚠注意	インパクトレンチは使用しないで下さい。止むを得ず使用する際はトルク設定に注意し、部品が破損しないようご注意ください。
⚠警告	スプリングは遊びが無いように装着して下さい。特に荒巻タイプリアスプリングは、20~40 mmスプリングを縮めた状態でショックアブソーバーが装着出来るよう長さを調整の上で装着して下さい。

○ 使用上の注意事項

⚠警告	一般公道を走行する際は、最低地上高90mm以上を確保して下さい。また、初年度登録日が平成 18 年 1 月 1 日以降のフォグランプ装着車は、上記最低地上高の確保及び、フォグランプ下縁高さを 250 mm以上確保の上、スプリングが遊ばない状態にして、保安基準を遵守して下さい。スプリングは経年変化によりヘタリが発生し、遊びや車高変化が発生する場合がありますので、定期的に点検、調整を行って下さい。
⚠警告	本製品の取付後は定期的に点検、清掃、増し締めを行って下さい。正しい取扱いをしても、激しい運動状況やその他の原因により破損や損傷する場合がありますので、万一、破損や損傷が認められ、本来の性能が損なわれている場合は速やかにパーツを交換して下さい。
⚠注意	車高が下がることにより、段差や縁石、障害物等へ下回り、スポイラー等が干渉し易くなりますのでご注意ください。
⚠注意	シェルケースねじ部にダストが付着した状態でロアシート、フランジ等の調整を行うと、ねじ部にダストが噛み込み、調整不可能となり、パーツの交換が必要となりますので、調整を行う際には必ずブラシ等で清掃後に調整を行ってください。
⚠注意	本製品は特殊防錆処理を行っておりますが、走行中の飛び石等によるキズ、融雪剤により錆が発生し、最悪の場合固着してしまう場合がありますので、定期的に清掃、防錆剤の塗布を行ってください。錆及び錆に起因する不具合は保証対象外となります。
⚠注意	走行中に「シュ」という音が聞こえる場合がありますが、これはショック内部のオイルの作動音であり、ショックの異常ではありません。
⚠注意	本製品への交換や、タイヤのインチアップ等により、車体各部からの音が車内に伝わり易くなる場合がありますが、構造上対処出来ない場合がありますので、予めご了承ください。
⚠注意	廃却する場合は、販売店まで問い合わせ下さい。

○ 製品保証について

本製品には、保証制度を設けております。別紙製品保証書をご確認頂き、ご購入時に販売店にてご記入頂き、弊社までFAXもしくは郵送にてご連絡下さい。本書とあわせ大切に保管して下さい。

- ① 本製品の保証内容は本書(PL法含む)に準じた場合のみ適用となりますので、予めご了承ください。尚、保証期間内であってもお客様のご使用方法に問題があったと弊社で判断した場合、保証を受けられない場合があります。また、保証書のFAX、郵送の無い場合は保証対象外となります。
- ② 本製品の保証対象期間は装着日より1年以内、且つ走行2万キロ以内とさせていただきます。
- ③ 本製品の保証については、本製品の各パーツのみとなります。また、次の場合には、保証期間内であっても有償修理となりますので、予めご了承ください。
 - ・ 取扱説明書に記載された取扱い方法に反して取付、使用された場合の不具合
 - ・ ご購入後の取扱い上の不備(輸送事故・取付作業中の事故)に起因する不具合
 - ・ 使用中に生じた傷、塗装・メッキ剥がれ、錆に起因する不具合
 - ・ 弊社製品以外の製品と組み合わせて使用したことに起因する不具合
 - ・ 天変地異により起因して生じた不具合
- ④ 本製品のクレーム・不具合等で発生した脱着工賃・関連作業工賃・その他の保証に関して弊社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ⑤ クレーム返品時の返送費用はお客様負担となります。
- ⑥ 本保証制度は日本国内においてのみ有効です。日本国以外で使用された製品の保証は致しません。
This Warranty is valid in Japan.

○ 減衰力調整に関して

減衰力調整式のショックに関しまして。ショックを上から覗き込む形で、時計回りに回すと減衰力を固く、反時計回りに回すと減衰力を柔らかくセッティングすることが可能です。